



The Y's Men's Club of Sendai

仙台ワイズメンズクラブ 2018年10月報

- 国際会長主題 「私たちは変えられる」
- アジア太平洋地域会長主題 「アクション」
- 東日本区理事主題 「為せば、成る」
- 北東部長主題 「チャンス到来 われら北東部から世界へ」
- クラブ会長主題 「ホップ・ステップ・そろそろジャンプ」

会 長 中川典幸
 副 会 長 佐々木絹子
 書 記 横倉 純
 会 計 田中京子
 メネット会長 吉田一恵
 担当主事 鈴木陽子

仙台クラブ事務所 : 〒980-0822 仙台市青葉区立町9番7号 仙台YMCA内
 仙台クラブ Facebook: <https://www.facebook.com/sendaiys/>

<今月の聖句>

そこで、弟子たちに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のための働き手を送ってくださるように、収穫の主に願いなさい。」

マタイによる福音書 第9章37節～38節

10月の例会

日 時 : 10月17日(水)
19:00~21:00

会 場 : 仙台YMCA立町会館
3階サービス実習室

参加費 : 1,500 円

※広瀬川ワイズと合同での開催

9月22日 70周年祝会報告

在籍者	16名
出席者	15名
メイキャップ	0名
ゲスト・ビジター	77名
メネット・コメント	2名
出席率	93.7%
ニコニコ	0円



巻頭言

「る・い・せ・ん」

横倉 純

以前から自分は涙もろいな～、と感じていたが、年々歳を重ねるごとに、そのもろさが増したように思う。テレビを見ていて、ラジオを聴いていて、本を読んでいて、会話をしていて、プリテンを読んでいて…、葬儀でのお別れの言葉などでき面である。そんな場面でも平常にしている人を見ると何かコツでもあるのかな～とも思ってしまう。家族で朝ドラを見ていて涙が出そうになると、ぐっと我慢をしていたこともあったが、最近はティッシュやタオルをそばに置き、恥ずかしいのだが、我慢せずに涙を拭くようになった。過日は病院の待合室で文庫本を読んでいて涙を流してしまい、ハンカチで拭いていたら隣の方が「う？」という感じで視線を送ってきて、ちょっと困った。

ネット検索してみても年齢との因果関係は、はっきりとしないが、中には「人生経験を積んできたことによる、成長であり、頑張ってきた証です」や「涙もろさは、人間的に



深みを持っていることの表れ、恥ずかしがることはない」などと書いてあったりするが??である。「涙をコントロールできる目立たない仕草6つ」というのもあった。①口をあける。②あごや目を上げて、上を見る。③飴をなめる。④炭酸飲料を

飲む。⑤舌先をかむ。⑥手をグーパーさせる、である。また「別のことを考える」もあった。瞬間的に涙を止める手段になるのかと思うが参考までに。

でも涙もろいことは決して悪いことではなく、感受性が強いのは、未だ若くもあるんだろうかと、思ったりも。できればうれし涙を流せると良いのだが・・・。

10月強調月間「EMC/E」「YES」

今月は「EMC/E」(Extension、Membership & Conservation / Extension) Eはクラブ拡張つまり新クラブを設立すること。MCは新会員獲得と会員意識の高揚をはかること。

「YES」(Y's Extension Support) ワイズ新クラブ設立を目指す目的の基金プログラムです。

会員増強はワイズメンズクラブの永遠のテーマです。区、部のみならずクラブのメンバー一人ひとりが自分の課題として受け止め、日頃のワイズダムの活動の中で手を取り合って行動を起こしましょう。

仙台クラブ70周年記念祝会報告

日時：2018年9月22日(土) 16:00~18:00

会場：TKPガーデンシティ仙台(アエルビル21階)

出席者：阿部・今澤・牛尾・岡・岡メネ・小幡・工藤・佐々木・鈴木・高松・田中・田村・田村メネ・永井・中川・横倉・吉田、計17名

ゲスト等：77名

<祝会例会模様>

第22回北東部部大会に併せて開催することになった仙台クラブ70周年記念祝会の当日、朝から生憎の雨模様でしたが、部大会に出席者が到着する直前には上がり、ほっとしました。会場までのルート案内、記念品袋詰め、受付準備等々仙台3クラブの皆さんの協力のもと、スムーズに運ぶことができました。

体調を崩され出席が危ぶまれた宮内東日本区理事も回復され、山田次期理事、栗本直前理事、板村次々期理事に田中アジア太平洋地域会長と揃い踏みの出席となり部大会は仙台クラブ高松ワイズメンの司会により定刻に開会されました。

プログラムどおり大会は順調に進み、来年7月に仙台で開催されるアジア太平洋地域大会の力強いアピールがあり、川上牧師の基調講演では福島被災地の最新の様子も報告され、

これからの活動を考える時を持つことが出来、北東部の

歌にて閉じられました。その時には祝会のみ出席される方々も揃い、全員での集合写真撮影があり、いよいよ94名の出席者による70周年記念祝会の開会です。

オープニングは由来のナレーションと共に登場「仙台すずめ踊り祭連・六軒丁睦」18名の皆さんによる、ピッタリと息の合ったすずめ踊り、一同見入りました。司会は横



倉書記、一呼吸の後進行。

はじめに中川会長の歓迎のあいさつ、祝辞は栗本東日本区直前理事と村井仙台YMCA総主事。総主事の祝辞では仙台YMCA100年誌の抜粋が皆さんに配布され、仙台クラブ創立時の模様にも触れて頂きました。お祈りは長老の岡久雄ワイズメンにより厳かに深みある祈りが捧げられました。乾杯の発声は板村東日本区次々期理事、一言お祝いの挨拶があり、「カンパニー！」各テーブルからグラスの触れる音が響きます。スクリーンには懐かしい写真がスライドショーにて映し出され、しばし懇談の後、伊豆伊東市から駆け付けて頂きました、人呼んで金八先生の浦島浩司さんによるギターコンサート、勇気の出るオリジナル曲が続き、バックコーラスに参加する面々もありました。浦島さん一休みの間に、出席クラブの紹介、一言メッセージも頂きながらで時間がどんどん過ぎて行き、石巻・仙台は紹介のみに。再び浦島さんの登場、なじみの曲に皆も乗り、ラストはふるさとの合唱になりました。そして東日本区大会アピールの後、阿部靖実行委員長から70年を振り返り、出席者の皆さんに感謝の言葉が述べられました。オーラスは広瀬川クラブ菅野健ワイズメンのサクソス伴奏により、YMCAの歌を皆で斉唱し、祝会は閉じられました。もっともっと時間があれば良かったですが「素晴らしい眺めと、美味しい料理と、雀踊りでとても満足です」の声を聞くこともできました。

ご出席を賜りました皆さん、ご協力を頂きました仙台青葉城クラブの皆さん、仙台広瀬川クラブの皆さん、そして素敵な会場を選定して頂いたワールドトラベルさんに、心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。



エプロンシアター

田中 京子

広瀬川クラブ9月第一例会エプロンシアターに吉田ウィメン、田村メネットと参加しました。エプロンシアターはテレビなどで知っているつもりでしたが、生で見ることができて良かったです。富沢児童館の先生方による、普段は子供向け（0歳～4歳）だけどワイズ向けに、たぬきがビールを飲みすぎお腹



がポンポコなどのアレンジがあり笑いも起こり楽しかったです。手が込んでいてとても良く出来ている可愛い動物の人形は、メネットが時間を合わせ集まってひとつの作品に3カ月くらいかけ、楽しみながら作っているとの事、その時間は少し羨ましくも思いました。メネットの活動はみんなの都合を考えると、中々外へボランティアの参加は難しく、本を見ながら始めたのがきっかけで、今5作目を作っていて、夢は幼稚園など4か所に贈呈しているものを集めて会場を借り発表との事です。楽しくボランティアに取り組んでおられ素晴らしいと思いました。

チャリティーラン

小幡 忠弘

9月23日(日)に東北学院大学泉キャンパスにて「第24回仙台YMCA国際・チャリティーラン2018」が開催されました。障がいのある子どもたちを支援するための当イベントですが、多くのリーダーたちがサポートしてくれました。実行委員をはじめ、ボランティアの職員の皆さん、リーダー、ワイスなど本当に多くの方に支えられた一日でした。駅伝のチームは50チーム314名。ファミリーランは38チーム218名。(うち、1チーム当日申込) 駅伝、ファミリーラン、ボランティア、来場者を数えると879人の方が集いました。



10月第2例会報告

日時：2018年10月2日(火) 19:00~20:40

会場：仙台YMCA会議室

出席者：佐々木・鈴木・田中・中川・横倉

青葉城クラブの菊地弘生さん、広瀬川クラブの松本京子さんも出席された。

- ① 10月例会については広瀬川クラブとの合同芋煮例会を持つことに、広瀬川の松本ウィメンと当クラブの女子会にて概要打合せ、翌日の広瀬川第二例会を経て確定させる。「決定」
- ② 先の北東部大会&仙台クラブ70周年記念祝会の費用について、北東部会計担当、青葉城クラブの菊地メンと確認を行う。若干確定しない費用があり、別途確認しそれぞれの負担分について確定させることとする。
- ③ 11/6(土)郡山にて開催の「ワイスメネットのつどい」への参加者の確認を行う。
- ④ 仙台YMCAクリスマス実行委員会が10/15(月)及び10/29(月)に行うことを確認する。

わたしの好きな事

田中 京子

何でもかんでも欲張ってきました。毎日忙しく、最近は疲れ果てています(笑)改めて私の好きな〇〇って何だろうと考えました…好きな音楽、好きな色、好きな人とか気が多い私ですが長年続いている(習っている)のはチクチク針仕事、小物作りです。好きな仲間と楽しいおしゃべりの時間を過ごすのが好きなのかも知れません。最近は将来私がいなくなっても、この物が残り家族が時に私を思い出してくれるかな…なんて思ったりしています。

